

稔ヶ丘高校のキャリア教育の目標と計画について

1 キャリア教育の目標について

稔ヶ丘高校の「目指すべき生徒の将来像」は「他者とともに生涯チャレンジし続ける社会人」です。このような生徒を育成するために、キャリア教育部ではどのようにキャリア教育を実施していくのか、下記の通りキャリア教育の目標を定めています。

【キャリア教育の目標】

- (1) 進路行事やキャリア系科目等を通して、自己管理能力の基盤となる感情制御力・行動力・状況把握力を育成するとともに、社会や自己に対する理解を深め、自己肯定感を育成する。
- (2) 進路行事やキャリア系科目等における探究的活動やアクティブラーニングを通して、主体的に社会や自己の課題を発見し、解決する力や新しい価値基準を創造する能力を育成する。
- (3) 進路行事やキャリア系科目等におけるグループワークを通して、傾聴力・表現力・協働力等のコミュニケーション能力を育成すると共に、多様な人々と共生しようとする社会性を育成する。
- (4) 進路行事やキャリア系科目等を通して、自己の適性を理解し、自己実現に必要な専門性を向上させるとともに、自己実現を達成するために進路計画を立てそれを実行する力を育成する。
- (5) 必履修科目等を通して基礎的知識・技能を育成し、選択科目や講習、課外活動等を通して、自己実現に必要な発展的知識・技能を育成する。

2 各年次におけるキャリア教育の計画について

上記のキャリア教育の目標に基づいて、各年次のキャリア系科目では、一貫性・相互関連性を持たせた系統的なキャリア教育計画を立て、授業を実施します。詳しくは、各キャリア系科目の初回授業で年間授業計画が配布されますので、確認してください。

「他者とともに生涯チャレンジし続ける社会人」(目指すべき生徒の将来像)

科目	本校におけるキャリア系科目の目標	科目の目標
キャリアサクセス 【卒年次】	自己実現の達成	これまでの学校生活におけるすべての体験を活かし、社会に生きる人間としてより良い在り方・生き方を追求し、望ましい職業観の育成を目指すとともに、自己実現のために具体的な計画を立て、それを実行し実現する実践的取り組みを行う。 主な学習の内容 ：志望理由書作成・面接練習・出願書類準備・プレ社会人講座・学習成果発表会準備 等 育成を重視する力 ：キャリア教育の目標(4)
産業社会と人間 【2年次】	社会性と主体的態度の育成	①自己の生き方を探求させるという観点から、自己啓発的な体験学習や討論などを通して、職業の選択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要な態度コミュニケーション能力を養うとともに、自己の充実や生きがいを探すことを目指し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度の育成を図ること。 ②現実の産業社会やその中で自己の在り方生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図ること。 主な学習の内容 ：外部講師(企業・進路業者・卒業生等)による講話・探究的活動の実施・アクティブラーニング・グループワーク実施等 育成を重視する力 ：キャリア教育の目標(2)(3)
人間と社会 【1年次】	自己理解と自己肯定感の育成	自他の価値基準の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、価値観の判断基準を高めることで、社会的現実を照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。 主な学習の内容 ：支援機関(YSW・SC・サボステ)による講話・卒業生講話・キャリア教育部講話・進路体験旅行指導・職業レディネステスト・自分史の作成 等 育成を重視する力 ：キャリア教育の目標(1)

(5) 自己実現に必要な知識・技能の育成(授業・講習等)